社会科 (歴史的分野)

社会科(歴史的分野)について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な 知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、 生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情 を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・ 考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられ ていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の 実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史 と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上 に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとすることの大切さについて の自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きて いくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動 が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や 現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携につ いても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点 から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮が なされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされ ていること。

社会科 (歴史的分野)

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新編 新しい社会 歴史」

学習課題が、章を通して探究する問い「探究課題」、各節で追究する問い「探究のステップ」、 毎時間ごとの「学習課題」の3段階で構造化されて示されるとともに、それぞれの問いに対応し たまとめや振り返り活動が具体的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく 工夫されている。各章や毎時間の導入では、導入資料が提示され、学習課題を追究するきっかけ となる読み取りの視点や具体的な活動が随所に設定されている。

「みんなでチャレンジ」や資料の読み取りを促す活動コーナーでは、複数の視点から歴史的事象を考察し、資料から読み取ったことを基に話し合う活動を計画的に行うことができるよう構成されている。特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、課題解決的な学習の具体的な進め方に加え、ポスターセッション、歴史新聞、レポート、イラストマップ、プレゼンテーションなど、生徒がまとめ・表現する際の多彩な方法が紹介されるなど、よく工夫されている。

単元のまとまりや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「チェック」と「トライ」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができる。「みんなでチャレンジ」のコーナーも充実しており、生徒が教科書を活用しながら個別最適な学びと協働的な学びを展開できる工夫として優れている。

各章の「まとめの活動」では、節の問いについて、思考ツールや年表を活用して時代の出来事を構造化して整理し、その時代の特色を文章でまとめるという一連の活動によって、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫が優れている。

本文と関連して、随所に代表的な国宝や重要文化財、史跡などが写真等で掲載され、充実した 文化史の紙面や、郷土の偉人を取り上げた人物コラムなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重し ようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」

学習課題を、章の問い、節の問い、毎時間の学習課題の3段階で構造化するとともに、毎時間の学習課題に応じた振り返りの視点を示して、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。各章のはじめには、導入資料とともに資料を読み取る具体的な活動が設定され、また、随所に生徒が資料を読み取り・分析する際の視点がイラスト付きの吹き出しの形で示されている。

「表現」で、「説明しよう」「話し合おう」として、自分の言葉で説明したり、対話したりする言語活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、生徒が時代の特色を自分の言葉で表現する活動が取り入れられるなど、多様な言語活動の充実が図られ、よく工夫されている。第1章の「身近な地域の歴史を調べよう」では、インタビュー活動を通して調べたり、話し合って考察したり、まとめて発表したりする活動の進め方が具体的に紹介され、生徒が課題を追究し解決する学習に取り組めるよう工夫されている。

歴史学習の興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」や、歴史を様々な側面から掘り下げていくテーマ学習の特設ページ「歴史を探ろう」など、本文の内容を視点を変えて捉えなおす題材が多く取り上げられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすい。

各章末「学習のまとめと表現」では、年表形式の構造図で時代の流れを大きく捉え直す活動や

その時代の特色を歴史新聞、関係図等で整理してまとめる活動が設定されているなど、生徒が歴 史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている

「未来をひらくために」や終章の「歴史を振り返って、未来を構想しよう」で、SDGsの17の目標を示し、歴史の流れを踏まえて現代の課題とこれからの社会を築いていくために自分たちに何ができるかを考察・構想する学習が用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」

学習課題が、章を貫く問い、節の問い、毎時間の問いの3段階で示されているとともに、問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。随所に設定されている「資料活用」では、資料を読み取る視点が具体的に示されるなど、生徒が資料を読み取る力を高められるよう工夫されている。

「説明しよう」で、1時間の学習内容を説明してまとめる活動が設定されている。各章末の「学習を振り返ろう」では、各節の問いに対する考えをまとめる活動が設けられており、さらに、「章の問い」に対する自分の考えを導き出せるよう丁寧に手順が示されているなど、節・章・毎時間ごとに、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を繰り返し高めていくことができるようよく工夫されている。また、「アクティブ歴史」では、論争的な課題が用意され、論点の整理から議論する活動を通して、生徒が様々な立場を踏まえて自分の考えを深めていく活動が設定されるなど、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう、よく工夫されている。

本文の内容をさらに深く掘り下げるコラム「歴史プラス」、当時の人々の姿から社会の課題を関連付けて捉える「未来に向けて」、地域の姿を掘り下げる「地域史」など、数多くのコラムが設けられ、生徒の興味・関心を引き出し、発展的な学習に取り組みやすいようよく工夫されている。

各節の冒頭の随所に設定される「タイムトラベル」で、考察する際の視点が示され、節や章、 毎時間に、考察したことを説明する課題が設けられている。また、「思考ツール」を特設ページで 紹介し、どの生徒にとっても学習に取り組みやすいようよく工夫されている。

コラム「未来に向けて」では、SDGsと関連付けた環境・交流・人権・平和の視点から、先人たちの取組が紹介されている。また、特設ページ「これからの社会を構想しよう」では、歴史的な背景を踏まえながら問題の解決方法を考え、22世紀の中学生へのメッセージとしてまとめる活動が提案されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付ける学習課題の工夫に優れている。

■山川出版社「中学社会 日本と世界 改訂版」

各章末にワークシート形式で、各時代の変化や影響を考察し、表や地図に整理してまとめる活動が用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。 一方で、毎時間の学習課題は発問形式で示されているが、単元や節のまとまりとしての学習課題は設定されておらず、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとしてやや弱い。

毎時間の学習課題や本文の関連資料に付されている問いの形で示された課題、特設ページ「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」など、時期や年代、推移、美術作品、史跡など多様な視点から歴史を捉え、考えられるよう、全体を通して言語活動につなげる発問が豊富に用意されており、生徒が多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう工夫されている。「身近な地域を調べよう」では、テーマの設定から調査の進め方、レポートの書き方や発表方法が分かりやすく示

されるなど、生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。

特設ページ「地域からのアプローチ」等を通じて、生徒の探究意欲を高めようとする工夫や、「ステップアップ」で、学習内容を深められるように課題が設定されているが、生徒が単元の学習内容を見通す場面はあまり示されておらず、学習の動機づけや主体的・対話的な活動を促す場面の工夫としてはやや弱い。

毎時間の「ステップアップ」やコラムに関連した考察する視点や発問が各所に示され、「歴史を考えよう」、「地域からのアプローチ」、各章末の「章のまとめ」では、生徒が考察する際の視点や手順が示されているなど、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。章の始めに、その時代の日本の年表に加え、世界の年表や世界の様子が世界地図とイラストで示されているなど、関連資料や古代から近代の世界の歴史に関する記述が充実しており、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を深く学ぶための工夫に優れている。

■日本文教出版「中学社会 歴史的分野」

各編の導入で、編の問いにつながる具体的な活動と節ごとの問いが示され、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が併せて示されている。さらに、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせて取り組む問いが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。また、各所に資料の読み取りを補助する「資料活用」や、調べ学習や史跡見学の方法等を紹介する「スキルUP」コーナーが設けられている。

各編に設定された「チャレンジ歴史」では、考古資料の読み取りから、話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題について考え、自分の言葉でまとめ、説明する活動が用意されており、生徒が歴史を学ぶ面白さを感じながら、多様な言語活動に取り組めるよう、よく工夫されている。また、各章の特設ページ「でかけよう!地域調べ」では、史跡・遺跡見学や博物館見学による調査の進め方や歴史新聞のまとめ方が紹介され、課題解決的な学習の充実が図られている。

資料を考察する際の問いやまとめにおいて、「学び合い」のマークを設定し、協働的に学ぶ学習 活動が展開できるよう工夫されている。

各編の導入や毎時間の学習で、考察の視点を具体的に示し、「確認」で説明する活動、「深めよう」で学習課題をさらに深める問いが設定されている。また、「チャレンジ歴史」や各章末の「アクティビティ」でも、考察の視点や手順を3つのステップで具体的に示し、学習に繰り返し取り組む中で、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫され、優れている。

「歴史を掘り下げる」「出かけよう地域調べ」「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」では、地域に受け継がれてきた行事や活動等を継承、発展させることの意義が重視されている。文化史や文化財に関する資料が数多く掲載され、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■自由社「新しい歴史教科書」

章末に、「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」が設定され、テーマ別の調べ学習、一問一答式の復習、地図問題等を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。一方で、章や節をまとまりとした学習課題が見られないことや、まとめや振り返りとして示されている活動が毎時間の学習課題に対応していない面も見られ、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとして弱い。

章の導入やまとめの中で会話をしながら問いに向かう様子のイラストを掲載するなど、言語活

動を基にした授業のイメージを示すとともに、毎時の学習に設定された「チャレンジ」で、学んだことを説明する活動を示して、言語活動の充実を図る工夫はされているが、議論をもとに考察させる場面を引き出す工夫はあまり見られない。各章冒頭にその時代を象徴する絵や地図を示し、疑問を提示することで、学習の意欲を高めようとするねらいが感じられる。

歴史的事象を深く知るためのコラムが豊富に掲載され、生徒の探究意欲を高め、より深い学びへのきっかけをつくろうとする工夫が見られるものの、章末の活動では、キャラクターを通じて、生徒に気づかせたい視点等を必要以上に例示していることなど、全体を通して、対話的な学びを引き出す課題設定や工夫の面ではやや課題が見られる。

掲載している写真や史料に関わって会話場面をイラストで示しながら、歴史の見方や考え方を 働かせることができるよう工夫されている。各所に掲載されているコラムでは、本文の学習内容 と関わって歴史の見方や考え方を働かせた捉え方から歴史を考察できるよう工夫されている。

「人物コラムクローズアップ」や「もっと知りたいコラム」にて、平和に尽力した人物や、持続可能な社会づくりの歴史的な事例が紹介して学習内容と関連付けることで、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■育鵬社「新しい日本の歴史」

学習課題は、章の問い、節の問い、毎時間の問いの3段階で構造化されている。章ごとの学習に対応した「学習のまとめ」で時代の特色を整理する学習課題を設定するなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。随所に「歴史ビュー」や「歴史ズームイン」として、多角的な視点で時代を捉えるためのコーナーやコラムが用意されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

節の区切りの場面を中心に設定された「歴史ズームイン」では、当時の時代背景と現代社会のつながりを調べたり、生徒同士で発表するといった活動が設定されている。また、学習課題と関連付けられた「探究」の課題では、まとめたことを説明する活動を設定するなど、様々な対話的な学びをもとに、生徒が自らの考えを深め、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう、よく工夫されている。

章の導入の「歴史絵巻」で時代の流れと学習する課題を大観させ、節の問いと関連付けられた 各ページの「課題」や「確認」・「探究」を活用して生徒が個別に学びを進めることができるよう に工夫されている。

毎時間の学習や章末の「学習のまとめ」で、学習内容を説明する活動を数多く設定する工夫が 見られる。また、終章「日本の歴史を大観する」の課題を通じて、生徒が自ら選択した歴史的事 象から、考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。

序章の「歴史探検」では、小学校で学んだ歴史上の出来事と文化遺産を関連付ける課題を設け、 巻頭や巻末、多様な特設ページで、文化財や人物に関する資料を豊富に取り上げている。各時代 で活躍した人物に着目し、文化の特色や変遷を関連付けることで、生徒が我が国の伝統と文化を 尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」

大きな時代のまとまりごとに学習課題が示され、学習内容を習得できるよう工夫されている。 各章末の「歴史を体験する」では、歴史的な人物や芸術作品の調べ学習等が提案されるなど、生 徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。 各部や各章末に、地図や年表を用いたグループ活動等を通して、生徒自身が時代の特色や転換を振り返りながら、考察し、表現する活動が設定されている。また、特設ページ「歴史を体験する」では、歴史上の人物の主張に対して賛否を討論する活動が設けられるなど、多様な言語活動の充実が図られている。毎時間のまとめ活動の設定がないことに加え、各部の「学習のまとめ」では、時代の特色や転換を捉え、その時代の特色を自分でまとめる活動が設けられているものの、各部冒頭に示される学習課題とのつながりが明確でないため、生徒が課題を追究し解決する学習を進めるための手立てとなり得ていない。

学習の問いや章のまとめの課題で、個別に学習を進めたり、協働的に学ぶ場面は設定されているが、学習状況を振り返る場面の設定が少なく、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫としては弱い。

各部のまとめ活動、各章末の振り返り活動等で、学習したことを関連付けて説明する活動が設けられているが、毎時間の学習では設定されておらず、生徒が考察する力や説明する力を身に付けるための手立てが弱い。

第6部「現代 学習のまとめ」で、時代の変化を捉え直しながら、国際社会の課題を考える課題 学習として、難民、公害と環境、戦争と平和を取り上げたモデル文をもとに個人又はグループで 考えを深めるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫され ている。

■令和書籍「国史教科書 第7版」

学習課題は、章の問い、項目ごとの問いの2段階で示されている。章の問いでは、政治・外交・文化・産業を視点とした問いが設定され、その問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。資料や地図、文献資料が提示され、「考えよう」で資料を読み取る活動が示されているところもあるが、資料を読み取る際の視点などは示されておらず、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けるための工夫としてはやや弱い。

章末の「まとめ学習」を通じて、グループで協働的に調べたり、互いにまとめたことを説明する活動も示されているが、「課題」と「考えよう」の2段階の問いによる学習活動は、具体的に言語活動を行う学習に繋げるようには示されておらず、生徒が主体的に対話を行い、学びを深めるための手立てとしてはやや弱い。毎時間のまとめとして提示される「考えよう」が、学習課題として提示される「課題」の内容と対応していないことや、章末の「学習のまとめ」が章で学習した内容の一部を切り取って、まとめ、振り返る活動として提示されていることから、生徒が見通しを持って課題を追究したり、解決したりする学習にはつながりにくく、手立てとしては弱い。

コラムや「考えよう」に示された問いを通じて、より深く学ぶための視点を示しており、章末の「まとめ学習」で調べ方やまとめ方といった技能を習得できるよう工夫されている。また、豊富な文献資料が掲載され、発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。

「課題」や「考えよう」を通じて、自ら調べ、まとめる活動を促し、個別に学習を進めることができるように工夫されているが、問い同士のつながりがあまり見られず、考察につなげたり、説明や議論といった対話的な活動を促すための手立てとしてはやや弱い。

持続可能な社会については、本文中に用語として扱われているが、持続可能な社会の姿を考察 し、生徒の社会参画意識の高まりに繋げる学習活動としては大きく取り上げられていない。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

	選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版	日本文教出版	自由社	育鵬社	学び舎	令和書籍
		1	基礎的基本的な学習内容の定着に向けた工夫	0	0	0	0	0	0	0	Δ	Δ
	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、	2	指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	0	0	0	Δ	0	Δ	0	0	0
'	生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できる よう工夫・配慮がなされていること。	3 用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫			0	0	0	0	0	0	0	0
		4	様々な情報を収集・読み取り・まとめる技能を身に付けるための工夫	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ
	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な	1	習得した知識及び技能の活用を促す工夫	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
2	学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・ 多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられ	2	説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ
	るよう工夫・配慮がなされていること。	3	課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	0	0	0	0	0	0	0	Δ	Δ
	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	0	0	0	Δ	0	Δ	0	0	Δ
3	動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと恊働	2	発展的な学習活動につながる工夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	0	0	0	0	0	Δ	0	Δ	Δ
	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家 及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各	1	歴史の流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、	2	歴史的な見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0
	歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したり しようとする活動が適切に取り上げられていること。	3	考察する力や説明する力を育成するための工夫	0	0	0	0	0	0	0	Δ	Δ
	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識 の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようと する態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する	1	持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
5	愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよ	2	我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うための工夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	う、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていく ため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うこ とに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。	3	我が国の歴史と世界の歴史との関連に関する記述	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳	1	人権教育の推進	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
L	性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容 が積極的に取り上げられていること。	2	道徳教育の推進	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	単元構成の系統性・発展性	0	0	0	Δ	0	0	0	Δ	Δ
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科 等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しや	2	他教科や教育課題等との関連	0	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ
′	すく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	3	他校種との接続	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
		4	家庭・地域との連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	+50 +70	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	0	0	0	0	0	0	0	Δ	Δ
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいようてま、配慮がなされているこ		ユニバーサルデザインの視点	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ
ľ	成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ

【社会 (歴史的分野)】観点別資料

【選定の観点1-1】 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	8 1 川川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○「チェック」「トラ	○「確認」「表現」の	○「確認しよう」「説	○「ステップアップ」	○「確認」「表現」の	○毎時間に設定され	○「確認」「探究」の	○毎時間ごとに、疑問	○章の中に適宜学習
イ」の2段階で毎時間	2段階で毎時間の学	明しよう」の2段階で	で、「どのように」「比	2段階で、学習課題と	ている「チャレンジ」	2段階で、毎時間の学	文の形式で学習課題	内容の定着のための
の学習のまとめがで	習のまとめができる	毎時間の学習のまと	較してみよう」「考え	共に示された見方・考	で、「説明しよう」「ま	習のまとめができる	が設定されているが、	「考えよう」の課題が
きるよう工夫されて	よう工夫されている。	めができるよう工夫	てみよう」「なぜだろ	え方を基に、学習のま	とめてみよう」「表に	よう工夫されている。	まとめ活動は設定さ	設定されているが、
いる。「チェック」で	「確認」では、基礎	されている。「確認し	う」といった発問を経	とめができるよう工	して比べてみよう」と	また、「探究」では、	れておらず、生徒が学	毎時間ごとに対応し
は、基礎的・基本的な	的・基本的な内容を確	よう」では、本文から	て、毎時間の学習を深	夫されている。学習課	いった活動を通して、	習得した知識を活用	習内容を習得するた	た学習のまとめとな
内容を確認し、「トラ	認し、「表現」では、	重要語句やポイント	める課題が示されて	題に対応した言語活	基礎的・基本的な内容	して説明するなどの	めの手立てが弱い。	る活動は示されてお
イ」では、学習課題に	説明や話し合い活動	を書き出し、「説明し	おり、生徒が学習内容	動に繰り返し取り組	を確認したり、要約や	活動が設定されてお		らず、生徒の学習内容
対応した要約や説明	を行うことで、段階的	よう」では、習得した	を習得できるよう工	むことで生徒が学習	説明をすることで、生	り、生徒が学習内容を		の習得に向けた手立
をする活動に繰り返	に振り返りながら、生	知識を活用する言語	夫されている。	内容を習得できるよ	徒が学習内容を習得	習得できるよう工夫		てとして弱い。
し取り組むことで、段	徒が学習内容を習得	活動に繰り返し取り		う工夫されている。	できるよう工夫され	されている。		
階的に振り返りなが	できるよう工夫され	組むことで、生徒が学			ている。			
ら、生徒が学習内容を	ている。	習内容を習得できる						
習得できるよう工夫		よう工夫されている。						
されている。								

【選定の観点1-2】 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○単元末に設定して	○章末の「学習のまと	○章末に「学習を振り	○各章末にワークシ	○編末に「まとめとふ	○章末に、「調べ学習	○章末の「学習のまと	○各章末に「章をふり	○各章末に「まとめ学
いる「まとめの活動」	めと表現」の、年表や	返ろう」が設定されて	ート形式で、各時代の	り返り」が設定されて	のページ」「復習問題	め」で、「年表」「資料	かえる」「学習のまと	習」が設定されおり、
で、節や章の問いの解	地図を基に、学習した	おり、年表や地図を用	変化や影響を考察し、	おり、年表と地図を基	のページ」「時代の特	の活用」「各時代の重	め」が設定されてお	時代ごとの特色を表
決につながる語句の	語句や人物との関わ	いて基礎的・基本的な	表や地図に整理して	に、いつどこで何があ	徴を考えるページ」	要人物」「地図」を基	り、学習内容を確認す	や年表に整理する活
意味を調べたり、主な	りを確認する学習活	知識を整理したり、章	まとめる活動が用意	ったのかを確認した	「対話とまとめ図の	に、その時代の特色を	る問い、指定された語	動や学習内容を確認
出来事や重要語句を	動や、習得した知識及	で学習した時代の特	されており、生徒が基	り、編の問いや学習し	ページ」が設定されて	文章でまとめる活動	句を用いて説明する	する設問が示されて
年表や資料に整理し	び技能を活用して説	色を指定された話型	礎的・基本的な知識及	た時代の特色を指定	おり、テーマ別の調べ	が提案されるなど、生	問い、その時代の特色	おり、生徒が基礎的・
たり、地図や資料を読	明したり、資料を読み	でまとめたりする活	び技能を習得できる	された話型でまとめ	学習、一問一答式の復	徒が基礎的・基本的な	について記述する問	基本的な知識及び技
み取ることで、生徒が	解く課題を通して、生	動を通して、生徒が基	よう工夫されている。	る活動が設定される	習、地図問題等を通し	知識及び技能を習得	いが用意されており、	能を習得できるよう
基礎的・基本的な知識	徒が基礎的・基本的な	礎的・基本的な知識及	一方で、毎時間の学習	など、生徒が基礎的・	て、生徒が基礎的・基	できるよう工夫され	生徒が基礎的・基本的	工夫されている。学習
及び技能を習得でき	知識及び技能を習得	び技能を習得できる	課題は発問形式で示	基本的な知識及び技	本的な知識及び技能	ている。学習課題は、	な知識及び技能を習	課題は、章の問い、項
るよう工夫されてい	できるよう工夫され	よう工夫されている。	されているが、単元や	能を習得できるよう	を習得できるよう工	章の問い、節の問い、	得できるよう工夫さ	目ごとの問いの2段
る。また、学習課題が、	ている。また、学習課	また、学習課題が、章	節のまとまりとして	工夫されている。ま	夫されている。一方	毎時間の問いの3段	れている。毎時間のま	階で示され、章の問い
章を通して探究する	題を、章の問い、節の	を貫く問い、節の問	の学習課題は設定さ	た、各編の導入で、編	で、章や節をまとまり	階で構造化されてい	とめ活動は設定され	では、政治・外交・文
問い「探究課題」、各	問い、毎時間の学習課	い、毎時間の問いの3	れておらず、生徒の学	の問いにつながる具	とした学習課題が見	る。章ごとの学習に対	ていない。大きな時代	化・産業を視点とした
節で追究する問い「探	題の3段階で構造化	段階で示されている	習内容の習得に向け	体的な活動と節ごと	られないことや、まと	応した「学習のまと	のまとまりごとに学	問いが設定され、その
究のステップ」、毎時	するとともに、毎時間	とともに、問いに対応	た手立てとしてやや	の問いが示されてい	めや振り返りとして	め」で時代の特色を整	習課題が示され、学習	問いに対応したまと
間ごとの「学習課題」	の学習課題に応じた	したまとめや振り返	弱い。	るとともに、毎時間の	示されている活動が	理する学習課題を設	内容を習得できるよ	めや振り返り活動が
の3段階で構造化さ	振り返りの視点を示	り活動が構造的に設		学習課題とその課題	毎時間の学習課題に	定するなど、生徒が学	う工夫されている。	設定されており、生徒
れて示されるととも	して、生徒が学習内容	定されているなど、生		解決の手がかりとな	対応していない面も	習内容を習得できる		が学習内容を習得で
に、それぞれの問いに	を習得できるようよ	徒が学習内容を習得		る見方・考え方が併せ	見られ、生徒の学習内	ようよく工夫されて		きるよう工夫されて
対応したまとめや振	く工夫されている。	できるようよく工夫		て示されている。さら	容の習得に向けた手	いる。		いる。
り返り活動が具体的		されている。		に、学習課題に対応し	立てとして弱い。			
に設定されているな				たまとめや見方・考え				
ど、生徒が学習内容を				方を働かせて取り組				
習得できるようよく				む問いが設定される				
工夫されている。				など、生徒が学習内容				
				を習得できるようよ				
				く工夫されている。				

【選定の観点1-3】 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語	○本文の難しい用語
には、側注で解説を示	には、側注で解説が示	には、側注で解説が示	には、側注で解説が示	には、側注で解説が示	には、側注で解説を示	には、側注で解説が示	には、側注で解説が示	には、頭注・脚注で解
すとともに、巻末の	されるとともに、適宜	されるとともに、適宜	されるとともに、「用	されるとともに、適宜	している。巻末の「重	されており、生徒の用	されており、生徒の用	説が示されており、生
「用語解説」ページで	「解説」コーナーが設	「解説」コーナーが設	語解説」コーナーを設	「基本用語」コーナー	要用語解説」や適宜用	語理解を深める手立	語理解を深める手立	徒の用語理解を深め
も補充されている。ま	けられており、生徒の	けられており、生徒の	け、意味が分かりにく	が設けられており、生	意されている「歴史の	てとなっている。	てとなっている。	る手立てとなってい
た、本文・巻末ともに	用語理解を深める手	用語理解を深める手	い言葉の解説により、	徒の用語理解を深め	言葉」が、生徒の用語	○各章冒頭に「歴史絵	○各章冒頭で紹介さ	る。
関連ページが表示さ	立てとなっている。	立てとなっている。	生徒の用語理解を深	る手立てとなってい	理解を深める手立て	巻」として、章の大き	れる世界各地の様子	○おもに白黒の資料
れるなど、生徒の用語	○各章のはじめには、	○随所に設定されて	める手立てとなって	る。	となっている。	な歴史の流れを示す	をテーマ別に紹介す	や地図、文献資料が提
理解を深める手立て	導入資料と共に、資料	いる「資料活用」では、	いる。	○各編の導入で、導入	○各章末の「調べ学習	「鳥の目で見る」、各	る資料で、その時代の	示され、「考えよう」
となっている。	を読み取る具体的な	資料を読み取る視点	○本文に掲載される	資料と共に時代を読	のページ」や「時代の	時代の特色を捉える	世界の状況を捉える	で資料を読み取る活
○資料の読み取りを	活動が設定されてい	が具体的に示される	関連資料に、資料を読	み取る視点や具体的	特徴を考えるページ」	視点等を示す「虫の目	ことができるよう工	動が示されていると
促すコーナーが鉛筆	る。また、随所に生徒	など、生徒が資料を読	み取る視点が問いの	な活動が示されてい	では、具体的な活動内	で見る」が設けられて	夫されている。また、	ころもあるが、資料を
のイラストを用いて	が資料を読み取り、分	み取る力を高められ	形式で数多く提示さ	る。また、各所に資料	容が設定されている。	いる。また、随所に「歴	各章末の「歴史を体験	読み取る際の視点な
随所に設定されてい	析する際の視点がイ	るよう工夫されてい	れている。また、各所	の読み取りを補助す	一方で、掲載した資料	史ビュー」や「歴史ズ	する」では、歴史的な	どは示されておらず、
る。各章や毎時間の導	ラスト付きの吹き出	る。また、「タイムト	に設定される特設ペ	る「資料活用」や、調	と関連付けて適宜キ	ームイン」として、多	人物や芸術作品の調	生徒が歴史学習に必
入では、導入資料が提	しの形で随所に示さ	ラベル」や「技能をみ	ージ「歴史を考えよ	ベ学習や史跡見学の	ャラクターの吹き出	角的な視点で時代を	ベ学習等が提案され	要な技能を身に付け
示され、学習課題を追	れている。コラム「歴	がく」として、各時代	う」では、その時代に	方法等を紹介する「ス	しが加えられている	捉えるためのコーナ	るなど、生徒が歴史学	るための工夫として
究するきっかけとな	史の技」では、資料活	の様子を比較したり、	特徴的な事象等を読	キルUP」コーナーが	工夫が見られるもの	ーやコラムが用意さ	習に必要な技能を身	はやや弱い。
る読み取りの視点や	用の方法・手順等が示	時代の特色を捉えた	み解く視点や活動が	各所に設けられるな	の、読み取る視点が明	れるなど、生徒が歴史	に付けられるよう工	
具体的な活動が随所	されており、個人やグ	りするための特設ペ	提示されるなど、生徒	ど、生徒が歴史学習に	確でない場合も見受	学習に必要な技能を	夫されている。	
に設定されている。ま	ループ活動を通して、	ージやコーナーが随	が歴史学習に必要な	必要な技能が身に付	けられ、生徒が資料を	身に付けられるよう		
た、時代を反映する系	生徒が歴史学習に必	所に用意されるなど、	技能を身に付けられ	けられるよう工夫さ	活用する技能を習得	工夫されている。		
図や絵巻物、屏風絵、	要な技能を身に付け	生徒が歴史学習に必	るよう工夫されてい	れている。	する手立てとしては			
風刺画等を読み解く	られるよう工夫され	要な技能を身に付け	る。		やや弱い。			
視点が具体的に示さ	ている。	られるよう工夫され						
れる「スキル・アップ」		ている。						
コーナーなど、生徒が								
歴史学習に必要な技								
能を身に付けられる								
よう工夫されている。								

【選定の観点 2-1】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○「トライ」で、1時	○「表現」で、「説明	○「説明しよう」で、	○毎時間の学習にお	○「表現」で、1時間	○毎時間の学習課題	○「探究」で、1時間	○各部末の「学習のま	○節ごとに「課題」と
間の学習内容を基に	しよう」「話し合おう」	1 時間の学習内容を	いて、歴史が変化する	の学習内容を基に説	と学習内容を振り返	の学習内容を基に指	とめ」や各章末の「章	「考えよう」を基に生
要約や説明する言語	として、自分の言葉で	基に説明してまとめ	過程で起こる諸課題	明してまとめる活動	ってまとめを行う「チ	定された語句を使っ	をふりかえる」で、学	徒の思考を引き出す
活動が設定されてい	説明したり、対話した	る活動が設定されて	についての問いと共	が設定されている。ま	ャレンジ」の活動を示	て学習内容を確認し	習した内容を基に、各	問いが設定されてい
る。また、各章末の「ま	りする言語活動が設	いる。また、各章末の	に、その問いの解決に	た、各章末の「まとめ	すことで、知識及び技	たり、説明したり、ま	時代を比較したり、関	るが、「課題」を通じ
とめの活動」では、章	定されている。また、	「学習を振り返ろう」	つながるまとめ活動	とふり返り」や特設ペ	能の習得を目指すと	とめたりする活動が	連付けたりしながら、	て学習する内容は、学
の学習を通して習得	各章末の「学習のまと	では、各節の問いに対	「ステップアップ」が	ージ「チャレンジ歴	ともに、生徒が知識及	設定されている。ま	その時代の特色を説	習の振り返りにあた
した知識及び技能を	めと表現」では、イラ	する考えをまとめる	設定されている。ま	史」では、習得した知	び技能を活用しなが	た、各章末の「学習の	明する活動が設定さ	る「考えよう」の問い
活用しながら、段階的	ストや写真、年表、図	活動が設けられてお	た、各章末のまとめで	識を基に前の時代と	ら、思考力、判断力、	まとめ」では、章で学	れ、生徒が知識及び技	の内容と対応してい
に節の問いや探究課	を基に、その時代の出	り、さらに、「章の問	は、章の学習を通して	の共通点や違いを考	表現力等を身に付け	習したことを基に、年	能を活用しながら、思	ないため、各時間で生
題の解決を図る活動	来事や変化を説明す	い」に対する自分の考	習得した知識及び技	えたり、その時代の特	られるよう工夫され	表や資料を用いてそ	考力、判断力、表現力	徒が習得した知識及
や思考ツールを使っ	る活動やその時代の	えを、章の学習内容を	能を活用して、その時	色を自分の言葉でま	ている。	の時代の特色を説明	等を身に付けられる	び技能を活用する学
て学習した時代のま	特色を考える活動が	活用しながら、導き出	代の特色や前後の時	とめたりする活動が		する活動が複数設定	よう工夫されている。	習場面を促す工夫と
とめを行う活動が設	設定されており、生徒	せるよう丁寧に手順	代との比較等を、多面	設定されており、生徒		されるなど、生徒が知		しては弱い面がある。
定されており、生徒が	が身に付けた知識及	が示されているなど、	的・多角的に考察し説	が知識及び技能を活		識及び技能を活用し		
身に付けた知識及び	び技能を活用しなが	節・章・毎時間ごとに、	明する活動がワーク	用しながら、思考力、		ながら、思考力、判断		
技能を活用しながら、	ら、思考力、判断力、	生徒が知識及び技能	シート形式で用意さ	判断力、表現力等を身		力、表現力等を身に付		
思考力、判断力、表現	表現力等を身に付け	を活用しながら、思考	れるなど、生徒が知識	に付けられるよう工		けられるよう工夫さ		
力等を身に付けられ	られるよう工夫され	力、判断力、表現力等	及び技能を活用しな	夫されている。		れている。		
るよう工夫されてい	ている。	を繰り返し高めてい	がら、思考力、判断力、					
る。		くことができるよう	表現力等を身に付け					
		よく工夫されている。	られるよう工夫され					
			ている。					

【選定の観点 2-2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	8 1 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○随所に「みんなでチ	○歴史資料の読み解	○各章末の「章の学習	○毎時間の学習課題	○各編に設定された	○章の導入やまとめ	○節の区切りの場面	○各部や各章末に、地	○章末の「まとめ学
ャレンジ」や資料の読	きを示唆する	を振り返ろう」で、章	や本文の関連資料に	「チャレンジ歴史」で	の中で会話をしなが	を中心に設定された	図や年表を用いたグ	習」を通じて、調べる
み取りを促す活動コ	「THINK!」や特設ペー	の問いに対して自分	付されている問いの	は、考古資料の読み取	ら問いに向かう様子	「歴史ズームイン」で	ループ活動等を通し	際にグループで協働
ーナーが設けられ、グ	ジに設定されている	の考えを説明したり、	形で示された課題、特	りから、話し合いや意	のイラストを掲載す	は、当時の時代背景と	て、生徒自身が時代の	的に学ぶことや、互い
ループワーク等で複	「TRY!」等で、時代の	深めるために話し合	設ページ 「歴史を考え	見交換を通して、多面	るなど、言語活動を基	現代社会のつながり	特色や転換を振り返	にまとめたことを説
数の視点から歴史的	特色を考察する活動	ったりする活動が設	よう」「歴史へのアプ	的・多角的に課題につ	にした授業のイメー	を調べたり、生徒同士	りながら、考察し、表	明する活動が示され
事象を考察したり、資	が設定されている。ま	定されている。また、	ローチ」など、時期や	いて考え、自分の言葉	ジを示すとともに、	で発表するといった	現する活動が設定さ	る場面もあるが、「課
料から読み取ったこ	た、各章末の「学習の	各所に設定される「ア	年代、推移、美術作品、	でまとめ、説明する活	毎時の学習に設定さ	活動が設定されてい	れている。また、特設	題」と「考えよう」の
とを基に話し合う活	まとめと表現」では、	クティブ歴史」では、	史跡など多様な視点	動が用意されている。	れた「チャレンジ」で、	る。また、学習課題と	ページ「歴史を体験す	2段階の問いによる
動を計画的に行うこ	歴史的な見方・考え方	論争的な課題が用意	から歴史を捉え、考え	時代の特色を考え、説	学んだことを説明す	関連付けられた「探	る」では、「対話・討	学習活動は、具体的に
とができるよう構成	を働かせて、生徒が時	され、論点の整理から	られるよう、全体を通	明する活動を通して、	る活動を示して、言語	究」の課題では、まと	論にチャレンジ」とし	言語活動を行う学習
されている。単元のま	代の特色を自分の言	議論する活動を通し	して言語活動につな	生徒が歴史を学ぶ面	活動の充実を図る工	めたことを説明する	て、歴史上の人物の主	につなげるようには
とまりの中で、生徒が	葉で表現する活動が	て、生徒が様々な立場	げる発問が豊富に用	白さを感じながら、多	夫はされているが、議	活動を設定するなど、	張に対して賛否を討	示されていないため、
各時代の人々や社会	取り入れられるなど、	を踏まえて自分の考	意されており、生徒が	様な言語活動に取り	論を基に考察させる	様々な対話的な学び	論する活動が設けら	生徒が主体的に対話
の様子を多面的・多角	多様な言語活動の充	えを深めていく活動	多面的・多角的に考察	組めるよう、よく工夫	場面を引き出す工夫	を基に、生徒が自らの	れるなど、多様な言語	を行い、学びを深める
的に捉え、考えられる	実が図られ、よく工夫	が設定されるなど、多	する力を身に付けら	されている。	はあまり見られない。	考えを深め、多面的・	活動の充実が図られ	ための手立てとして
よう、よく工夫されて	されている。	面的・多角的に考察す	れるよう工夫されて			多角的に考察する力	ている。	はやや弱い。
いる。		る力を身に付けられ	いる。			を身に付けられるよ		
		るよう、よく工夫され				う、よく工夫されてい		
		ている。				る。		

【選定の観点 2-3】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○毎時間の学習課題	○毎時間の学習課題	○全ての章で、章を貫	○第1章の「身近な地	○各編冒頭に、各時代	○各章末に「調べ学習	○各章冒頭に用意さ	○毎時間のまとめ活	○毎時間のまとめと
の解決を積み重ねな	や各章末の「学習のま	く問い、節ごとの問	域を調べよう」では、	を大観する資料が用	のページ」が設定され	れている、章の大きな	動の設定がないこと	して提示される「考え
がら、節ごとの課題	とめと表現」、節ごと	い、毎時間の問いが示	テーマの設定から調	意されており、時代の	ており、各時代に関連	歴史の流れを示す「鳥	に加え、各部の「学習	よう」が、学習課題と
「探究のステップ」の	に設定された課題に	されるとともに、それ	査の進め方までイラ	転換や特色を捉える	するテーマを設定し、	の目で見る」、各時代	のまとめ」では、時代	して提示される「課
まとめに取り組み、章	対して説明するまと	らの問いごとに振り	ストを交えて紹介さ	ための視点と学習課	調べ学習の方法やま	の特色を捉える視点	の特色や転換を捉え、	題」の内容と対応して
末には、章全体の学習	めの活動が設けられ	返り活動が設定され	れ、また、レポートの	題に加え、「何ができ	とめ方などの具体例	等を示す「虫の目で見	その時代の特色を自	いないことや、章末の
を通して追究してき	ている。また、第1章	ており、生徒は章全体	書き方や発表方法が	ればよいか」との具体	を示すことで、生徒が	る」を経て、各章末の	分でまとめる活動が	「学習のまとめ」が章
たことを基に、探究課	の「身近な地域の歴史	の見通しをもちなが	分かりやすく示され	的な「めあて」が併せ	主体的に取り組むた	「学習のまとめ」で、	設けられているもの	で学習した内容の一
題の解決につながる	を調べよう」では、イ	ら、段階的に問いを追	るなど、生徒が課題解	て示されている。ま	めの手立てがとられ	時代を振り返り、その	の、各部冒頭に示され	部だけ切り取って、ま
まとめに取り組むと	ンタビュー活動を通	究することで、課題解	決的な学習を進めら	た、各単元末には、時	ている。各章冒頭にそ	時代の特色をまとめ	る学習課題とのつな	とめ、振り返る活動と
いう流れで、生徒が段	して調べたり、話し合	決的な学習が進めや	れるよう工夫されて	代を読み取る視点に	の時代を象徴する絵	る活動へとつながる	がりが明確でないた	して提示されている
階的な課題解決の学	って考察したり、まと	すい。また、第1部の	いる。また、各章末で	着目して、生徒が学習	や地図を示し、疑問を	よう段階的な学習活	め、生徒が課題を追究	ことから、生徒が見通
習に取り組めるよう	めて発表したりする	「歴史の調べ方・まと	は、政治・経済や世界	課題を解決するため	提示することで、学習	動が設定されている。	し解決する学習を進	しをもって課題を追
工夫されている。ま	活動の進め方が具体	め方・発表のしかた」	とのつながり、変化に	の手順に沿って、振り	の意欲を高めようと	章冒頭の「虫の目で見	めるための手立てと	究したり、解決したり
た、特設ページ「地域	的に紹介されるなど、	では、課題設定から調	ついてまとめ、振り返	返り活動に取り組め	するねらいが感じら	る」と章末の「学習の	なり得ていない。ま	する学習にはつなが
の歴史を調べよう」で	生徒が課題を追究し	査手法、まとめの方法	る活動がワークシー	るよう工夫されてい	れる。また、年表を先	まとめ」の関連性に弱	た、特設ページ「歴史	りにくく、手立てとし
は、課題解決的な学習	解決する学習に取り	など一連の流れが示	ト形式で用意されて	る。さらに、各章の特	に示すことで、学習の	い面が見られるもの	を体験する」の「地域	ては弱い。
の具体的な進め方に	組めるよう工夫され	されている。さらに、	おり、単元を見通した	設ページ「でかけよ	見通しがもてるよう	の、生徒が課題解決的	の歴史を歩く」では、	
加え、ポスターセッシ	ている。	「技能をみがく」コー	課題設定に弱い面が	う!地域調べ」では、	に工夫している。	な意識をもって学習	博物館や地域を歩い	
ョン、歴史新聞、レポ		ナーでは、具体的な学	見られるものの、生徒	史跡・遺跡見学や博物		に取り組む手立てに	て調べたことをグル	
ート、イラストマッ		習手順が紹介される	が課題解決を意識し	館見学による調査の		なっている。	ープやクラスで発表	
プ、プレゼンテーショ		など、生徒が課題解決	ながら学習に取り組	進め方や歴史新聞の			する活動が紹介され	
ンなど、生徒がまと		的な学習に取り組め	めるよう工夫されて	まとめ方が紹介され			ているが、他社と比べ	
め・表現する際の多彩		るよう工夫されてい	いる。	るなど、課題解決的な			て内容が弱く、生徒が	
な方法が紹介される		る。		学習の充実が図られ			課題解決的な学習を	
など、よく工夫されて				ている。			進める手立てとして	
いる。							十分ではない。	

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

	に取り組みですり、より工大・配慮がなされていること。また、101枚給の位用も首の、個別取過な子のと勝関的な子のを展開してすり、より工大・配慮されていること。										
発行者名											
2 東書	17 教出	46 帝国	8 1 山川	116 目文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書			
○単元を貫く「探究課	○導入の「○章の学習	○章の冒頭に、「タイ	○各章の冒頭に、日本	○各編の冒頭で、時代	○章の冒頭では、「予	○章の冒頭の「鳥の目	○章の冒頭に、世界地	○章の冒頭で、年表を			
題」、各節の「探究の	のはじめに」で、資料	ムトラベル」として、	史年表と世界史年表	を代表する事象等が、	告編」として、年表と	で見る」で、各章で学	図と年表を用いて、そ	活用し、主な出来事を			
ステップ」、毎時間ご	を基にこれから学習	見開きで時代の概観	を見比べられる形で	写真、図版・イラスト	共に各章で学ぶ代表	習する内容が示され、	の時代の外国で起こ	確認したり、時代の特			
との「学習課題」の3	する時代の概要を掴	を描いたイラストを	掲載するとともに、各	等を用いて整理され、	的な事象や、人物の写	「虫の目で見る」で、	った主な出来事と学	色を示す視点として、			
段階に設定された学	む活動が設定されて	掲載し、生徒が学習内	時代を代表する事象	対話的な活動を展開	真などを用いて整理	資料を読み取りなが	習課題が示されてい	政治・外交・文化・産			
習課題と、それぞれに	いる。学習項目に「ク	容を見通すことがで	や文化財等の写真、風	できるように構成さ	されており、学習の見	ら、その時代の様子を	る。学習内容に沿っ	業に着目させる問い			
関連させた「導入の活	リスマスまでには帰	きるように工夫され	刺画、図版・イラスト	れている。「節の問い」	通しが立てやすくな	捉える活動が設定さ	て、毎時間の学習で	を示す工夫が見られ			
動」「まとめの活動」	れるさ」といった生徒	ている。章のまとめで	等を示し、生徒の関心	を示し、単元のまとま	っている。また、歴史	れており、生徒が学習	「将軍吉宗のなげき」	る。また、節ごとの「考			
によって、構造的に探	が興味を引くような	は、話し合い活動の場	を高め、対話的な学習	りを通じた学習に対	的事象を深く知るた	する時代の見通しを	「632 日世界一周の	えよう」で、節の学習			
究的な学習に取り組	タイトルを付ける工	面を示し、対話的な学	につながるよう構成	して、生徒が見通しを	めのコラムが豊富に	もちやすい。章末の	旅」など、生徒の興味	内容をより深く学ぶ			
めるよう工夫されて	夫が見られる。	習によってより学び	されている。特設ペー	もって主体的に取り	掲載され、生徒の探究	「学習のまとめ」で	を引くようなタイト	問いが提示される工			
いる。単元の導入部分	「読み解こう」「歴史	を深められるように	ジ「地域からのアプロ	組めるよう工夫され	意欲を高め、より深い	は、学習した時代につ	ルを付けることで、主	夫も見られるが、全体			
でイラストや年表等	の技」のコーナーで、	構成されている。ま	ーチ」等を通じて、生	ている。また、特設ペ	学びへのきっかけを	いて話し合う場面が	体的な学習を促して	を通して、生徒が単元			
を基に単元の学習課	生徒の対話的な学び	た、特設ページ「アク	徒の探究意欲を高め	ージ「チャレンジ歴	つくろうとする工夫	設けられるなど、対話	いる。「ふりかえる」	の学習課題に見通し			
題を掴む対話的な学	を引き出すとともに、	ティブ歴史」でも、生	ようとする工夫や、	史」や各ページに「学	が見られるものの、章	的な学習につながる	や「学習のまとめ」で	をもつことができる			
習を設け、生徒が見通	各所に設定される	徒の関心を高めるト	「ステップアップ」	び合い」のマークで示	末の活動では、キャラ	よう工夫されている。	は、発表や話し合い活	ような働きかけはあ			
しをもって主体的に	「THINK!」「TRY!」等	ピックを用いて、対話	で、学習内容を深めら	された課題を基に、対	クターを通じて、生徒	また、特設ページ「歴	動が提案されるなど、	まり見られず、主体的			
学習が進められるよ	で、学習課題と関連付	的な学習につながる	れるように課題が設	話的な学びを促し、生	に気付かせたい視点	史ズームイン」では、	生徒が対話的な活動	な学びや、対話的な学			
う工夫されている。ま	けて歴史資料を読み	よう工夫されている。	定されているが、生徒	徒が主体的・対話的な	等を必要以上に例示	「縄文時代探検!」の	に取り組みやすいよ	びを促す工夫として			
た、各章の特設ページ	解き、時代の特色を考	随所に設定されてい	が単元の学習内容を	学習に取り組めるよ	していることなど、全	ように、生徒の関心を	う工夫されている。	は弱い。			
「地域の歴史を調べ	察する探究的な活動	る「歴史を探ろう」で、	見通す場面はあまり	うに工夫されている。	体を通して、対話的な	高めながら、時代の生	また、適宜本文内に設				
よう」では、時代を代	が提案されている。各	学習を深める関連資	示されておらず、学習	「チャレンジ歴史」や	学びを引き出す課題	活や文化等をより深	けられている「フォー				
表する地域の調査・考	章の特設ページ「身近	料や情報が豊富に掲	の動機付けや主体	「地域調べ」などの題	設定や工夫の面では	く理解するための内	カス」では、「郷学校				
察・まとめ活動が手順	な地域の歴史を調べ	載されていることや、	的・対話的な活動を促	材や、巻末の「歴史と	やや課題が見られる。	容が紹介され、生徒の	から公立学校へ」「家				
ごとに紹介されるな	よう」では、その時代	「アクティブ歴史」	す場面の工夫として	の対話を未来にいか		探究意欲を高められ	族総出の『米こしら				
ど、生徒が探究意欲を	の特徴的な出来事や	で、各時代の様々な選	はやや弱い。	す」に設定された課題		るよう工夫されてい	え』」など、歴史の舞				
高められるよう工夫	遺跡、寺社等が掲載さ	択肢を当時の人々の		学習などを通じて、生		る。	台に焦点を当てた解				
されている。	れており、生徒の地域	立場に立って考察す		徒の探究意欲を高め			説が掲載されており、				
	の歴史への興味と探	る活動が提案される		られるよう工夫され			生徒の探究意欲を高				
	究意欲を高められる	など、生徒の探究意欲		ている。			められるよう工夫さ				
	よう工夫されている。	を高められるよう工					れている。				
		夫されている。									

【選定の観点3-2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。										
発行者名										
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 目文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書		
○特設ページ「もっと	○各所に、歴史学習の	○各所に本文の内容	○各時代と関連する	○毎時間に示される	○時代のできごとを	○歴史学習の幅を広	○適宜本文内に設け	○コラムや「考えよ		
知りたい」では、学習	興味や関心を広げて	をさらに深く掘り下	世界の様子を地図や	「見方・考え方」では、	より深く捉えるコラ	げ、多角的な視点で解	られている「フォーカ	う」に示された問いを		
内容をさらに深めた	いくコラム「歴史の	げるコラム「歴史プラ	イラストで紹介する	見方・考え方を働かせ	ムとともに、学習内容	説する「歴史ビュー」	ス」では、歴史の舞台	通じて、より深く学ぶ		
り、広げたり、異なる	窓」や、歴史を様々な	ス」だけではなく、当	「○世紀の世界」な	て、学習課題をさらに	と関わって「もっと知	「歴史ズームイン」、	となった地域や出来	ための視点を示して		
視点で捉えたりしな	側面から掘り下げて	時の人々の姿から社	ど、生徒が世界史との	深める視点が設定さ	りたい」のページを設	歴史を動かした人物	事などに焦点を当て	おり、章末の「まとめ		
がら取り組む学習課	いくテーマ学習の特	会の課題を関連付け	関連に気付くよう工	れている。また、「歴	定し、生徒が発展的な	を紹介する「人物クロ	た解説が掘り下げら	学習」で調べ方やまと		
題が提案されており、	設ページ 「歴史を探ろ	て捉える「未来に向け	夫されるとともに、	史+α」「歴史を掘り	学習を行う際の手が	ーズアップなどの多	れており、また、各章	め方といった技能を		
生徒が発展的な学習	う」など、本文の内容	て」や、地域の姿を掘	「歴史へのアプロー	下げる」「先人に学ぶ」	かりとなるよう工夫	彩なコラムにより、生	末の「歴史を体験す	習得できるよう工夫		
に取り組みやすいよ	を視点を変えて捉え	り下げる「地域史」な	チ」「コラム」「人物」	「近代の女性」など数	されている。	徒が発展的な学習に	る」では、火おこし実	されている。また、豊		
う工夫されている。	なおす題材が多く取	ど、数多くのコラムが	など、本文をより深め	多くの特設ページや	○見出しの下に学習	取り組みやすいよう	験やインターネット	富な文献資料が掲載		
○単元のまとまりや	り上げられるなど、生	設けられ、生徒の興	る内容が数多く紹介	コラムが設けられて	の問いを設定し、学び	工夫されている。	での情報探索、討論と	され、発展的な学習に		
見開き2ページを単	徒が発展的な学習に	味・関心を引き出し、	されるなど、生徒が発	おり、生徒が発展的な	の方向性を示すとと	○章の導入の「歴史絵	いった生徒の活動を	取り組みやすいよう		
位とした学習内容ご	取り組みやすいよう		展的な学習に取り組	学習に取り組みやす	もに、「チャレンジ」	巻」で時代の流れと学	促すことで発展的な	工夫されている。		
とに学習課題が設定	工夫されている。	組みやすいようよく	みやすいよう工夫さ	いよう工夫されてい	の課題で、生徒に具体	習する課題を大観さ		○「課題」や「考えよ		
されており、「チェッ	○単元のまとまりや	工夫されている。	れている。	る。	的な活動を示しなが	せ、節の問いと関連付	いよう工夫されてい	う」、「まとめ学習」を		
ク」と「トライ」の項	見開き2ページを単	○単元における「節の	○各ページの見出し	○単元のまとまりや	ら、個別最適な学びを	けられた各ページの		通じて、自ら調べ、ま		
目にて生徒が個別に	位とした学習内容ご	問い」と各ページの学	に示された学習課題	見開き2ページを単	展開できるように工	「課題」や「確認」・「探	○学習の問いや章の	とめる活動を促し、個		
学習課題に沿った学	とに学習課題が設定	習課題とを関連付け	や、「ステップアップ」	位とした学習内容ご		究」を活用して生徒が	まとめの課題で、個別	別に学習を進めるこ		
習活動を進めること	されており、「確認」	て学習を進めること	の学習課題、資料に付	とに学習課題が設定	する、発表するなどの	個別に学びを進める	に学習を進めたり、協	とができるように工		
ができるように工夫	の項目にて生徒が個	ができるように工夫	された「Q」を通じて、	されており、「確認」	協働的な学びを意識	ことができるように	働的に学ぶ場面は設	夫されている。一方で		
されている。また、「み	別に学習課題に沿っ	されている。また、学	個別に調べ、考察する	と「表現」の項目にて	した課題は、章のまと	工夫されている。ま	定されているが、学習	説明する、発表するな		
んなでチャレンジ」の	た学習活動を進める	習課題に対応した「確	学習活動を展開でき	生徒が個別に学習課	めにしか見られない	た、「探究」の課題や	状況を振り返る場面	どの協働的な学びを		
コーナーも充実して	ことができるように	認しよう」と「説明し	るよう工夫されてい	題に沿った学習活動	といった点でやや弱	章の「学習のまとめ」	の設定が少なく、個別	意識した課題は、あま		
おり、生徒が教科書を	工夫されている。ま	よう」の課題を通じ	る。 まとめにおいても	を進めることができ	い。	の課題では、説明する	最適な学びと協働的	り見られない点でや		
活用しながら個別最	た、「表現」の課題で	て、生徒が個別に学習	問いを設定し、生徒が	るように工夫されて		活動など対話的な学	な学びを展開するた	や弱い。		
適な学びと協働的な	は、説明する活動など	活動を進めることが	学んだことをそれぞ	いる。資料を考察する		びや協働的に学ぶ学	めの工夫としては弱			
学びを展開できる工	対話的な学びや協働	できるよう工夫され	れ個別に整理できる	際の問いやまとめに		習活動が展開できる	V,			
夫として優れている。	的に学ぶ学習活動が	ている。まとめの学習	ように工夫されてい	おいて、「学び合い」		ように工夫されてい				
	展開できるように工	課題では「対話」のマ	る。	のマークを設定し、協		る。				
	夫されている。	ークを示して、グルー		働的に学ぶ学習活動						
		プ活動等を通じて協		が展開できるよう工						
		働的に学びを深める		夫されている。						
		ことができるように								
		工夫されている。								
1										

【選定の観点4-1】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

動が適切に取り上け	られていること。							
発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○各章の冒頭に、「導	○各章の導入「○章の	○「章の問い」、「節の	○各章の導入で、その	○ページの右には年	○ページの下部に年	○ページの下部に年	○巻末に 12 ページに	○年表を活用して各
入の活動」として、学	学習のはじめに」で	問い」、毎時間ごとの	時代を表す主な出来	表を示し、学習してい	表を示し、学習してい	表を示し、学習してい	わたって、歴史の流れ	時代の主な出来事を
習する時代の年表が	は、その時代の特徴を	学習課題が設定され	事の図版資料や史跡	る時代を大観できる	る時代を大観できる	る時代を大観できる	を大観できるよう、地	確認できるようにす
示され、毎時間には、	表す図版資料を基に	て、段階的に課題解決	等の写真と共に、日本	よう工夫されている。	よう工夫されている。	よう工夫されている。	球誕生から現代まで	るとともに、章の冒頭
その時代の主な出来	時代を概観し、キャラ	を図る中で、生徒がそ	と世界の年表が並べ	各章の「学習のはじめ	各章の冒頭に、「予告	各章の扉ページで、	の歴史年表が図版と	で、時代の特色を示す
事や文化財等と共に、	クターの吹き出しで、	の時代の概観や流れ	て提示されており、生	に」で、予想や疑問を	編」としてその章で学	「鳥の目で見る・歴史	共に示されている。ま	視点として、政治・外
生徒がどの時代の学	時代の変化に注目し	が捉えられるよう工	徒がこれから学習す	出し合い、自身で時代	ぶ代表的な事象や、人	絵巻」として、生徒が	た、各章の冒頭には学	交・文化・産業に着目
習をしているか一目	て、生徒が学習する時	夫されている。ページ	る日本と世界の主な	の特色に対する見通	物が写真などを用い	学習する時代を活躍	習課題と共に、世界地	させる問いを示し、章
で分かるよう「時代の	代の特色を明らかに	の右には年表を示し、	歴史の流れが概観的	しが立てられるよう	て、年表の形式で整理	した人物や主な出来	図と年表を用いて、そ	で扱う時代の特色を
スケール」が用意され	する活動が用意され	学習している時代を	に捉えやすい。また、	工夫されている。各編	されており、歴史の流	事を基に大観すると	の時代の外国で起こ	捉えることができる
ている。また、単元を	ている。また、どの時	大観しやすい。また、	各章末のまとめでは、	末の「まとめとふり返	れが概観的に捉えら	ともに、各時代の特色	った主な出来事や世	よう工夫されている。
貫く「探究課題」や各	代の学習をしている	各章末の「学習を振り	学習した時代の流れ	り」では、年表を使っ	れるよう工夫されて	を捉える視点等を示	界史の教材が示され	
節の「探究のステッ	か一目で分かるよう	返ろう」では、年表を	を振り返るための発	た時代の振り返り学	いる。章のまとめで	す「虫の目で見る」に		
プ」、毎時間の学習課	「時代スケール」が毎	基に学習した時代の	問がワークシート形	習と共に、その時代の	は、時代の流れ、区分、	より、各時代の特色を	代の世界の様子が捉	
題を追究することで	時間掲載されている		式で用意されており、	特色を捉え、思考ツー	比較、時代を一言で表	捉えることができる	えやすい。さらに、章	
歴史の流れが大観で	とともに、各章末「学	「章の問い」に対する	それに答えていく形	ルを活用し、段階的	すといった課題が設	よう工夫されている。	や部のまとめにおい	
きるよう工夫されて	習のまとめと表現」で	自分の考えを、思考ツ	でその時代の特色を	に、考察し、説明する	けられ、各時代の特色	各章末の「学習のまと	て、時代の特色に応じ	
いる。さらに、各章の	は、年表形式の構造図	ールを用いて、段階的	整理できるよう工夫	力を育成する活動等	を捉えて理解が深ま	め」では、年表や資料	た図版や発問などが	
「まとめの活動」で	で時代の流れを大き	に整理し、最後には、	されている。さらに、	が用意されているな	るよう工夫されてい	などを基にその時代	設けられており、スリ	
は、節の問いについ	く捉え直す活動やそ	その時代の特色を自	特設ページ「歴史を考	ど、生徒が歴史の大き	る。	を振り返り、その時代	ーヒントクイズや歴	
て、学習した内容を構	の時代の特色を歴史	分の言葉で表現する	えよう」では、江戸図	な流れを大観しなが		で最も重要な人物や	史絵画の推理、その時	
造化して整理するペ	新聞、関係図等で整理	活動が用意されてい	屏風や関所から時代	ら、各時代の特色を捉		出来事を選びその理	代の人にインタビュ	
ージが設定され、Xチ	してまとめる活動が	る。さらに、各時代の	の特色を捉えるなど、	えられるよう工夫さ		由を考察し、自分の言	ーなど、多様な活動を	
ャートやウェビング	設定されているなど、	様子を描いたイラス	本文とは異なった視	れている。		葉で表現する活動が	通して、生徒の興味を	
等の思考ツールや年	生徒が歴史の大きな	ト「タイムトラベル」	点から時代の特色を			設定されている。	高めながら、歴史の大	
表を活用して、時代の	流れを大観し、各時代	を活用し前の時代と	捉えることができる				きな流れを大観し、各	
出来事を整理したり、	の特色を捉えるため	の比較や、学習した時	など、生徒が歴史の大				時代の特色を捉えら	
その時代の特色を文	の多様な活動が設定	代の特色を改めてイ	きな流れを大観し、各				れるよう工夫されて	
章でまとめるという	されている。	ラストを通して捉え	時代の特色を捉える				いる。	
一連の活動によって、		直す活動が設定され	ための多様な活動が					
生徒が歴史の大きな		るなど、生徒が歴史の	設定されている。					
流れを大観し、各時代		大きな流れを大観し、						
の特色を捉えるため		各時代の特色を捉え						
の工夫が優れている。		やすくするための工						
		夫が優れている。						

【選定の観点4-2】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

動が適切に取り上げ	·られていること。							
発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○第1章の第1節「歴 史をとらえる見方・考え え方」で、見方・考え 方の複数の視点が紹 介されている。また、 随所に生徒が第1章で 取り上げた見方がら考え を動かせながった。	○巻頭に「歴史にアプローチ」として、見方・考え方の例が示されている。また、全体を通して、「表現」「歴史の技」、資料解説に付随する「THINK!」などで、生徒が見たがまままたの無いせれたが、まままを働かせれたが、	○巻頭ページの「歴史 的な見方・考え方」で、 見方・考え方の複数の 視点が紹介されてい る。また、各時代の様子を描いた「タイムト ラベル」学習を振り返 ここで 時代ない数	○各章末のまとめで、 見方・考え方を働かせ ながら、その時代の特 色を捉えるため問い が用意されている。ま た、毎時間ごとに設定 されている「問い」に も、生徒がせながらま	○第1編「歴史的な見 方・考え方とは」で、 見方・考え方の複数の 視点が紹介されてい る。また、毎時間ごと に、学習課題の解決に 向けた手考えなり る見たされてい	○章のまとまりで学習した内容について、まとめを行う際に、歴史的な見方・考え方を働かせたり、考察する力や、説明する力を育成する課題を設定している。まとめの活動して表現する。	○見方・考え方に関する説明や紹介する記明や紹介する記述は見られないが、各章のまとめ活動など、各所に生徒が見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉表が設定されている。	○見方・考え方に関する説明や紹介する記明や紹介する記述は見られない。また、生徒が見方・考え方を働かせながら、問いの解決を図る具体のな課題等もほぼ示されてのエキュースのエースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエースのエキュースのエキュースのエースのエースのエースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエキュースのエースのエースのエースのエースのエースのエースのエースのエースのエースのエ	○巻頭の「国史を学ぶにあたって」のページで歴史の見方・考え方を解説し、学習の際の視点として活用できるよう工夫されている。章の冒頭で、時代の特色を多面的・多角のに知って知りたる。
察で徒えに大○間ジる具のでを学いと毎話が記される。 (本名) というというには、一点のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	考ら意れ○の「特別で基思考す考るる。 考らでは、 のでは、	をした。 をした。 でとえ徒かれ題見たきていれて、 でとえばかれ題見たきていれて、 でとえばかれ題見たきでいれで、 にとないれいでという。 でとなけれいでしたが、 でとなけれいできていれで、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でとなり、 でいれいでいり、 でいれいでいいでいいでは、 でいいれいでいいでいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいでいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいでいいでいい。 でいいいいでいいでいい。 でいいいいいでいい。 でいいいいでいい。 でいいいいいでいい。 でいいいいいいでいい。 でいいいいいいいいいい	方察からり夫 ッに視示 特えア 「生視に 祭力と でいった。 ○ア連やれて毎 プリカ でいった。 「コーナー でいった。 でいった。 「カーナー でいった。 でいいた。 でいいんでいいんでいいんでいんでいいんでいんでいいんでいんでいんでいんでいんでい	のに示して、 で動れ見ない。 で動れ見ない。 でもいる方がるい。 でもいる方がるい。 でもいる方がるい。 でもいる方がるい。 でもいる方がるい。 でもできれていりででは、ででででは、でして、で動れる方がるい。 でもできれるがででででででででででででででででででででででででででででででででででで	しりなせ段がれ 真会で見せう所コ習史働歴う しりなせ段がれ 真会で見せう所コ習史働歴う	ジ「歴史ズームイン」 等で、考察する際の視点や発問を示し、毎時間のまとめ」で、参照を記明する。 質のまとめ」で、活るの容を説明する。 を数多くれる。を大通した歴史を選いて、生徒が事象が見られる。 た歴史的事象がられる。 た歴史的事象がられる。 を選択した歴史を選択、考察する力や説明する。	としての工夫は弱い。 ○各章末のまとめ返れたりとしてのまとり返れたりでは、 各章等で、学習したりでは、 を関連が、毎時間のでは、 をはいるが、 ないでは、 をはいるが、 をはいるのでは、 をはいるのでは、 をはいるのでは、 でいるのでいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでいるのでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でい	的に 足を でで でで でで でで でで でで でで でで でで で
		考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されており、優れている。		付けられるよう工夫 され、優れている。				

【選定の観点5-1】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	発行者名										
2 東書	17 教出	46 帝国	81 川川	116 目文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書			
○巻頭ページ「持続可	○第7章の最後「未来	○章のまとめで、学習	○巻頭の「身近な地域	○第6編「これからの	○「人物コラムクロー	○巻末の「歴史学習の	○第6部「現代 学習	○持続可能な社会に			
能な社会の実現に向	をひらくために」や終	の節目ごとに、「『これ	を調べよう」で、一人	世界と日本の課題」	ズアップ」や「もっと	まとめ」では、歴史学	のまとめ」で、時代の	ついては、本文中に用			
けて」で、環境・エネ	章の「歴史を振り返っ	からの社会を構想し	の声や行動など、小さ	で、現代的な諸課題の	知りたいコラム」に	習を将来どのように	変化を捉え直しなが	語として扱われてい			
ルギー、人権・平和、	て、未来を構想しよ	よう』の準備」として	な歴史が大きな歴史	解決のために私たち	て、平和に尽力した人	生かしていきたいか	ら、国際社会の課題を	るが、持続可能な社会			
伝統・文化、防災・安	う」で、SDGsの17	学習してきた内容と	を動かしたことを探	に何ができるのかを	物や、持続可能な社会	文章にまとめる活動	考える課題学習とし	の姿を考察し、生徒の			
全、情報・技術の5つ	の目標を示し、歴史の	SDGsとの関連を	る学習が、生徒にとっ	考えた上で、災害・政	づくりの歴史的な事	「日本の歴史を学ん	て、難民、公害と環境、	社会参画意識の高ま			
のテーマが示され、ま	流れを踏まえて現代	捉える視点を示して	て自分たちにも何が	治・世界平和の3テー	例が紹介されており、	で」が用意されるな	戦争と平和を取り上	りにつなげる学習活			
た、現代社会の課題の	の課題とこれからの	いる。随所に設けられ	できるのかを考える	マが用意されている	学習内容と関連付け	ど、生徒が持続可能な	げたモデル文を基に	動としては大きく取			
解決に関する特集等	社会を築いていくた	たコラム「未来に向け	動機付けとなってい	P. 292~299 に設定さ	ることで、生徒が持続	社会の姿について考	個人又はグループで	り上げられていない。			
が「もっと知りたい」	めに自分たちに何が	て」では、SDGsと	る、また、特設ページ	れた「『歴史との対話』	可能な社会の形成に	えを深められるよう	考えを深めるなど、生				
として設定されてい	できるかを考察・構想	関連付けた環境・交	「歴史へのアプロー	を未来に活かす」の学	参画する態度を身に	に工夫されている。	徒が持続可能な社会				
る。歴史や公民とのつ	する学習が用意され	流・人権・平和の視点	チ」「歴史を考えよう」	習課題で、歴史や先人	付けられるよう工夫		の形成に参画する態				
ながりがマークで示	るなど、生徒が持続可	から、先人たちの取組	では、多様な視点で歴	から学び、未来に継	されている。		度を身に付けられる				
され、生徒が持続可能	能な社会の形成に参	が紹介されている。	史を学習し、現代との	承・発展させるため、			よう工夫されている。				
な社会の形成に参画	画する態度を身に付	P. 307 からは、「これか	つながりを考える中	よりよい未来につい							
する態度を身に付け	けられるよう工夫さ	らの社会を構想しよ	で、生徒が持続可能な	て考え、まとめる活動							
られるよう工夫され	れている。	う」の特設ページを設	社会の形成に参画す	が提案されているな							
ている。		定し、グループ活動等	る態度を身に付けら	ど、生徒が持続可能な							
		を通して、歴史的な背	れるよう工夫されて	社会の形成に参画す							
		景を踏まえながら、問	いる。	る態度を身に付けら							
		題の解決方法を考え、		れるよう工夫されて							
		22 世紀の中学生への		いる。							
		メッセージとしてま									
		とめる活動が提案さ									
		れるなど、生徒が持続									
		可能な社会の形成に									
		参画する態度を身に									
		付ける学習課題の工									
		夫に優れている。									

【選定の観点5-2】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。									
発行者名									
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書	
○本文と関連して、随	○社会を動かしてき	○巻末で、世界遺産や	○巻頭に、日本の世界	○「歴史を掘り下げ	○古事記や日本書紀	○序章の「歴史探検」	○現代に見られる芸	○巻末に「日本美術図	
所に代表的な国宝や	た先人の働きや民衆	文化財が解説と共に	遺産が注釈付きで紹	る」「出かけよう地域	に描かれている神話	で、小学校で学んだ歴	能、文芸、建築、伝統	鑑」として各時代の特	
重要文化財、史跡など	の営み、人々が受け継	紹介されている。時代	介されている。特設ペ	調べ」「地域に学ぶ」	の物語を詳細に扱い、	史上の出来事と文化	行事などの歴史的な	色を示す文化財の特	
が写真等で掲載され	いできた多様な伝統	ごとにまとめられた	ージ「地域からのアプ	「先人に学ぶ」等の特	我が国の伝統と歴史	遺産を関連付ける課	つながりが多彩に紹	集ページを設定し、日	
ている。また、充実し	と文化を紹介する巻	文化史の扱いが充実	ローチ」で、奈良や平	設ページで、地域に受	に対する関心を高め	題を設けたり、巻頭や	介されており、生徒が	本の文化の移り変わ	
た文化史の紙面や、郷	頭の「私たちにつなが	しており、「人物コラ	泉、沖縄などの地域を	け継がれてきた行事	る工夫がされている。	巻末、多様な特設ペー	文化の担い手として	りを眺めることがで	
土の偉人を取り上げ	る歴史」に加え、各所	ム」では、為政者だけ	通した歴史学習から、	や活動等を継承、発展	各章に設けられてい	ジで、文化財や人物に	主体的に学ぶことが	きるよう工夫されて	
た人物コラムなど、生	に国宝・重要文化財・	でなく地域で活躍し	文化財保護について	させることの意義が	る「調べ学習のペー	関する資料を豊富に	できるように工夫さ	いる。日本の成り立ち	
徒が我が国の伝統と	世界遺産等の資料が	た人物や女性など	理解を深めたり、「人	重視されている。巻頭	ジ」で、各時代の特徴	取り上げている。各時	れている。「歴史を体	から天皇制の継承を	
文化を尊重しようと	マークと共に掲載さ	様々な立場の人々が	物コラム」では、歴史	と巻末をはじめとし	的な文化遺産や人々	代で活躍した人物に	験する」では、地域の	テーマに我が国の伝	
する態度を身に付け	れるなど、生徒が我が	紹介されるなど、生徒	上の人物と文化との	て、文化史や文化財に	の暮らしを取り上げ	着目し、文化の特色や	博物館調べや火おこ	統や文化について考	
られるよう工夫され	国の伝統と文化を尊	が我が国の伝統と文	関連を見通すことを	関する資料が数多く	ることで、我が国の伝	変遷を関連付けるこ	し体験などの学びを	察を深めることがで	
ている。	重しようとする態度	化を尊重しようとす	図り、生徒が我が国の	掲載され、生徒が我が	統や文化を尊重する	とで、生徒が我が国の	通じて、生徒が我が国	きるように工夫され	
○日本の歴史の大き	を身に付けられるよ	る態度を身に付けら	伝統と文化を尊重し	国の伝統と文化を尊	態度を身に付けられ	伝統と文化を尊重し	の伝統と文化を尊重	ている。	
な流れを理解するた	う工夫されている。	れるよう工夫されて	ようとする態度を身	重しようとする態度	るよう工夫されてい	ようとする態度を身	しようとする態度を	○巻頭に時代ごとの	
めに、日本の歴史に影	○資料として掲載さ	いる。	に付けられるよう工	を身に付けられるよ	る。	に付けられるよう工	身に付けられるよう	世界の国の王朝の移	
響を与えた世界の動	れた世界地図と関連	○日本の歴史に影響	夫されている。	う工夫されている。	○末尾に「世界各国・	夫されている。	工夫されている。	り変わりを示した図	
きが、各時代の中で取	付けながら、日本の歴	を与えた世界の動き	○日本の歴史に影響	○各編の始めに「地図	王朝の興亡一覧」を示	○巻末の年表に、各時	○各章の始めに、世界	を掲載し、世界と比べ	
り上げられており、関	史に影響を与えた世	との関連付けを図り	を与えた世界の動き	で見る世界の動き」と	し、「日本の主な出来	代の日本の年表に加	の歴史との関わりを	た日本の姿を国家体	
連付けを図りながら	界の動きを学習でき	ながら学習できるよ	が、各所に取り上げら	して、世界地図を基に	事」と世界と比べた日	えて世界の年表を掲	示す資料が掲載され	制の継続の視点から	
学習できるよう工夫	るよう工夫されてい	う、大きめの世界地図	れている。章の始め	イラストや資料で世	本の姿を国家体制の	載することで、生徒が	ている。巻末には 12	捉えさせる工夫が見	
されている。巻末の年	る。巻末には「世界地	が取り上げられてい	に、その時代の日本の	界の様子を解説する	継続の視点から捉え	我が国の歴史と世界	ページにわたり、現代	られる。巻末に掲載さ	
表には、各時代の日本	図の歴史」として、各	る。巻末の歴史年表に	年表に加え、世界の年	特設ページが用意さ	させる工夫がみられ	の歴史との関連を意	に至るまでの日本と	れたカラー地図の資	
の年表に加えて世界	時代の地図が紹介さ	は、日本だけではなく	表や世界の様子が世	れている。巻末の年表	る。「世界の主な出来	識しながら学習でき	世界の年表が掲載さ	料から日本と世界の	
の年表を掲載するこ	れるなど、当時の世界	世界の年表や、日本と	界地図とイラストで	には、各時代の日本の	事」が年表形式でまと	るよう工夫されてい	れ、日本の歴史の流れ	歴史におけるつなが	
とで、生徒が我が国の	観を掴みやすくする	海外の交流の欄を設	示されているなど、関	年表に加えて「世界の	められ、生徒が我が国	る。	から、世界の動きをと	りを捉えることがで	
歴史と世界の歴史と	手立てがなされるな	けることで、生徒が我	連資料や古代から近	動き」と「外国とのつ	の歴史と世界の歴史		捉え、生徒が我が国の	きるよう工夫されて	
の関連を意識しなが	ど、生徒が我が国の歴	が国の歴史と世界の	代の世界の歴史に関	ながり」の欄を設ける	との関連を意識しな		歴史と世界の歴史と	いる。	
ら学習できるよう工	史と世界の歴史との	歴史との関連を意識	する記述が充実して	ことで、生徒が我が国	がら学習できるよう		の関連を意識しなが		
夫されている。	関連を意識しながら	しながら学習できる	おり、生徒が我が国の	の歴史と世界の歴史	工夫されている。		ら学習できるよう工		
	学習できるよう工夫	よう工夫されている。	歴史と世界の歴史と	との関連を意識しな			夫されている。		
	されている。		の関連を深く学ぶた	がら学習できるよう					
			めの工夫に優れてい	工夫されている。					
			る .						

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○特設ページやコラ	○特設ページやコラ	○コラム「未来に向け	○世界の歴史の記載	○コラム「地域に学	○特設ページ「もっと	○、「歴史ビュー」や	○各時代に生きる	○アイヌや琉球文化、
ムにおいて、在日韓	ムにおいて、アイヌや	て」や特設ページ「歴	が充実しており、欧米	ぶ」で、在日韓国・朝	知りたいコラム」にお	「人物クローズアッ	人々の姿を中心に歴	奴隷制、女性の権利、
国・朝鮮人、アイヌの	琉球文化を伝えた	史を探ろう」におい	社会における民主主	鮮人、アイヌの文化な	いて、人命尊重や平和	プ」のコラムを通じ	史が叙述されている。	といった人権課題に
文化など、人権や平和	人々、オリンピック・	て、在日韓国・朝鮮人、	義の拡大や人権獲得	ど、人権に関する題材	の獲得に尽力した	て、人権に関わる題材	また、生徒の興味を引	関わる題材について、
に関する題材が取り	パラリンピックの意	アイヌ民族など、日本	の歴史が分かりやす	が取り上げられてお	人々の活躍を取り上	や、平塚らいてうや田	くようなタイトルが	歴史上の出来事や経
上げられており、生徒	義、点字の始まりなど	の人権に関わる内容	く紹介されている。現	り、また、「近代の女	げるなど、生徒が人権	中正造など、人権に関	付されたコラムでは、	緯は述べられている
が人権尊重の意識を	に関する題材が取り	や奴隷制など世界の	代では、公民権運動を	性」では、古代から現	尊重の意識を高めら	わる課題に関連した	奴隷制、ハンセン病患	ものの、学習課題や資
高められるよう工夫	上げられており、生徒	人権に関する題材が	推進したキング牧師	代までの女性の地位	れる事項が取り上げ	人物が取り上げられ	者、戦争孤児が題材と	料として人権課題を
されている。	が人権尊重の意識を	取り上げられており、	が掲載されるなど、生	向上の流れが分かり	られている。	るなど、生徒が人権尊	して取り上げられる	取り上げる場面はあ
○「もっと知りたい」	高められるよう工夫	生徒が人権尊重の意	徒が人権尊重の意識	やすく紹介されるな	○特設ページ「外の目	重の意識を高められ	など、生徒が人権尊重	まり見られず、生徒が
や「未来にアクセス」	されている。	識を高められるよう	を高められるよう工	ど、生徒が人権尊重の	から見た日本」におい	るよう工夫されてい	の意識を高められる	人権意識を高めるに
で、杉浦千畝の命のビ	○特設ページ「歴史を	工夫されている。	夫されている。	意識を高められる工	て、特別の教科道徳で	る。	よう工夫されている。	は、やや手立てとして
ザ、第五福竜丸事件、	探ろう」で、杉浦千畝、	○コラム「未来へ向け	○各所に設けられる	夫に優れている。	扱う、国際理解や生命	○特設ページ「歴史ズ	○指導的な立場の人	弱い。
震災の記憶などが題	第五福竜丸展示館、原	て」で、環境・人権・	特設ページ「地域から	○コラム「先人に学	の尊さ、郷土を愛する	ームイン」やコラム	物だけでなく、様々な	○コラムでは、杉原千
材として取り上げら	爆の子の像などが取	平和等の視点から、困	のアプローチ」では、	ぶ」で、雨森芳洲、岡	態度などについて考	「人物クローズアッ	分野・階層の男女の生	畝、震災での最後まで
れており、生徒が国際	り上げられており、生	難な状況下で国と国	その時代と地域の歴	倉天心、杉浦千畝など	えさせることができ	プ」では、日本の伝統	活、子どもや青年の学	途切れなかった避難
理解、生命の尊さ、地	徒が生命の尊さ、国際	とをつなぐ役割を果	史のつながりを考え	が取り上げられてお	る事項が取り上げら	と文化、地域の歴史に	習・労働等が題材とし	の呼びかけ、オバマ大
域の伝統と文化の尊	理解、地域の伝統と文	たした人物や出来事	る内容で、生徒が地域	り、生徒が国際理解、	れている。	名を刻んだ偉人の足	て取り上げられてお	統領の広島訪問など
重、郷土を愛する態度	化の尊重、郷土を愛す	が取り上げられてお	の伝統と文化の尊重、	生命の尊さ、地域の伝		跡などが数多く紹介	り生徒が、勤労、公共	が題材として取り上
などについて深く考	る態度などについて	り、生徒が国際理解、	郷土を愛する態度に	統と文化の尊重、郷土		されており、生徒が伝	の精神、地域の伝統と	げられており、生徒が
えられるよう工夫さ	深く考えられるよう	生命の尊さ、地域の伝	ついて深く考えられ	を愛する態度などに		統と文化の尊重、郷土	文化の尊重、郷土を愛	国際理解、生命の尊さ
れている。	工夫されている。	統と文化の尊重、郷土	るよう工夫されてい	ついて深く考えられ		を愛する態度などに	する態度などについ	などについて深く考
		を愛する態度などに	る。	るよう工夫されてい		ついて深く考えられ	て深く考えられるよ	えられるよう工夫さ
		ついて深く考えられ		る。		るよう工夫されてい	う工夫されている。	れている。
		るよう工夫されてい				る。		
		る。						

【選定の観点 7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

連携についても上天・配慮がなされていること。 								
発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 川川	116 目文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○大きな単元を貫く	○章ごとの問い、毎時	○単元を貫く問い、節	○各章末の「まとめ」	○各編の導入で、何が	○目標の具体的な提	○各章冒頭の「歴史絵	○章のまとまりごと	○各章末と章の始め
「探究課題」、その解	間ごとの学習課題に	ごとの問い、毎時間ご	で、章の学習内容を基	できればよいか「学習	示は示されていない	巻」で学習する時代の	に学習課題が示され	に年表を示し、時代の
決につながる各節の	対して、それぞれまと	との問いとそれぞれ	に、その時代の特色を	のはじめに」で示さ	が、まとめの学習で取	概要を捉えた上で、各	ている。章末ではまと	移り変わりを生徒が
「探究のステップ」、	め活動が設定されて	の問いに対応したま	まとめる活動を展開	れ、各章末の「まとめ	り上げられている課	章末の「学習のまと	め活動が設定されて	意識しやすいように
1時間ごとの「学習課	おり、生徒が系統的に	とめや振り返り活動	できるよう工夫され	とふり返り」で学習を	題は各章を通して、	め」で、章の学習内容	いるが、各章の学習課	工夫されている。「学
題」の3段階の問いと	学習できるよう工夫	に取り組むことで、生	ている。また、毎時間	深めたり、毎時間ごと	「時代比較の問題」や	を活用して、設定され	題や毎時間の学習課	習課題」と「まとめ学
それぞれの問いに対	されている。章の冒頭	徒が系統的に学習で	の学習課題が「ステッ	の学習課題とその課	「人物比較の問題」な	たテーマについて考	題と、まとめの学習課	習」は設定されている
応したまとめや振り	の「時代の変化に注	きるように工夫され	プアップ」として発問	題に対応した「確認」	ど、同じ課題を取り上	察し、その時代の特色	題のつながりが見え	が、通史として、歴史
返り活動に取り組む	目!」で、章で学習す	ている。特に、各章末	形式で示されている	などのまとめ活動に	げ、繰り返し学ぶ中で	を表現する活動に取	にくく、毎時間の学習	上の出来事を時代の
ことで、生徒が系統的	る時代の資料を読み	の「章の学習を振り返	が、単元や節のまとま	取り組む構成を通じ	生徒が歴史の見方・考	り組むなど、生徒が系	のまとめの設定も見	流れに沿って学習す
に学習できるよう工	解く活動を取り入れ、	ろう」では、章の学習	りごとの学習課題が	て、生徒が系統的に学	え方を習得できるよ	統的に学習できるよ	られないなど、単元を	る構成が強く、単元の
夫されている。特に、	生徒が新たな章の学	内容を深める場面が	示されていないこと	習できるよう工夫さ	うに単元の学びや構	う工夫されている。	通した系統的な構成	まとまりの中で多面
各章末「まとめの活	習内容を見通しなが	段階を踏んで設定さ	から、生徒が単元を見	れている。	成が工夫されている。	○現代的な諸課題は	の工夫としては手立	的・多角的に事象を捉
動」は、思考ツール等	ら系統立てて学習を	れ、生徒が繰り返し継	通して系統的に学習	○地理・公民分野との	○他教科との関連を	特設ページや巻末の	てが弱い。	え、各時代の特色やつ
を用いながら、章の学	深められるよう工夫	続的に取り組む中で	するための工夫とし	関連や地図帳との関	意識したマークを明	学習課題で関連が図	○特設ページや巻末	ながりを見通す系統
習内容の理解を深め	されている。	資質・能力を習得でき	てはやや弱い。	連が具体的な指示で	示するといった工夫	られているが、他分野	の学習課題で、現代的	的な学びへの手立て
られるよう工夫され	○見開きの左下に、他	るように工夫されて	○他分野や他教科等	示されているととも	は見られず、他分野や	や他教科等の関連を	な諸課題との関連が	としては弱い。
ている。	分野だけでなく他教	いる。	の関連を示すマーク	に、現代的な諸課題は	他教科との関連を示	示すマーク等は設け	図られているが、他分	○他分野や他教科等
○地理・公民分野や他	科のどの単元や項目	○見開きの左下に、地	等は設けられていな	特設ページや巻末の	す記載は少ない。	られておらず、関連を	野や他教科との関連	の関連を示すマーク
教科との関連が一目	と関連するのかが示	理や公民、他教科との	いが、各章で設定され	学習課題で関連が図		意識した記載も少な	を示すマークや学習	等の明示といった工
で分かるようマーク	されており、生徒が教	関連が明示され、生徒	る特設ページ「地域か	られている。		ν _°	課題等は設定されて	夫は見られず他分野
が示されており、生徒	科を越えたつながり	にとって、どの単元の	らのアプローチ」で				おらず、関連を意識し	や他教科との関連を
が関連を想起しやす	を意識しやすい。ま	どの項目を振り返る	は、他分野や他教科の				た記載も少ない。	示す記載は少ない。
い。また、終章にSD	た、第7章にSDG s	とよいかが分かりや	内容を活用しながら					
G s に関連した学習	に関連した学習が取	すい。また、終章にS	取り組む課題となっ					
が取り上げられるな	り上げられるなど、現	DG s に関連した学	ている。現代的な諸課					
ど、現代的な諸課題に	代的な諸課題に関連	習が取り上げられる	題について、特設ペー					
関連した学習活動が	した学習活動が工夫	など、現代的な諸課題	ジや最終章のまとめ					
工夫されている。	されている。	に関連した学習活動	の学習課題で関連が					
		が工夫されている。	図られている。					
			i			i		i

【選定の観点 7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○各章の最初に、小学	○第1章で、小学校で	○単元のはじめの「タ	○適宜、小学校で学習	○各章冒頭に示され	○各章の冒頭に、「登	○序章「歴史探検」や	○巻頭の「歴史を楽し	○序章に、小学校で学
校の学習に関連付け	学習した人物や文化	イムトラベル」で、小	した内容が記載され	る時代の流れを掴む	場人物コーナー」が設	各章「歴史絵巻」で、	く学ぼう」で、小学校	んだ人物と文化が掲
られたイラスト付き	遺産を振り返る活動	学校で学んだ主な出	ている。また、高等学	ための年表及び各ペ	けられており、小学校	小学校で学んだ先人	の学習を振り返る活	載されており、小・中
の年表や小学校の学	が設定されている。ま	来事や人物が紹介さ	校の日本史や世界史	ージで該当人物が登	で学習した人物が中	がイラストで紹介さ	動が掲載されており、	の接続が図られてい
習で取り上げられた	た、小学校学習した人	れている。また、見開	につながる内容も多	場した際の見開き左	心となって取り上げ	れており、各時代の出	人物カードと出来	るが表記は少ない。
資料、「小学校の社会	物には「小学校マー	きの左下に小学校と	く扱われており、高等	下に、小学校で学習し	られている。	来事と関連させなが	事・文化カードの作成	○本文やコラムを通
科で習ったことば」が	ク」が付けられるな	関連する項目が示さ	学校との接続をより	た人物として明示さ	○序章「歴史の捉え	ら、歴史の流れを振り	を行うなど、小・中の	じて、地方に見られる
示されるなど、小・中	ど、小・中の接続が図	れるなど、小・中の接	意識して工夫されて	れており、小・中の接	方」の第3節「地域の	返ることができるな	接続が図られている。	伝統文化や文化財を
の接続が図られてい	られている。	続が図られている。	いる。	続が図られている。	歴史を調べる」や調べ	ど、小・中の接続が図	○p. 132 の「地域の博	詳しく紹介し、学習課
る。	○第1章の「身近な地	○第1部の「歴史の調	○各章で設定される	○特設ページ「でかけ	学習のページにおい	られている。	物館で調べる」や「地	題としても取り上げ
○第1章の「身近な地	域の歴史を調べよう」	べ方・まとめ方・発表	特設ページ「地域から	よう!地域調べ」や	て、各地域の歴史に着	○第1章 「身近な地域	域の歴史を歩く」で	ることで、日本の各地
域の歴史」や各章の特	や各章の特設ページ	の仕方」や特設ページ	のアプローチ」を通し	「地域に学ぶ」を基	目できるような工夫	を調べてよう」や特設	は、身近な地域に目を	域への関心を高め、地
設ページ「地域の歴史	「身近な地域の歴史	「歴史を探ろう」、コ	て、地域の歴史に目を	に、身近な地域に目を	がされている。また、	ページ「地域の歴史を	向けることで、生徒が	域の歴史に対する愛
を調べよう」を通し	を調べよう」を通し	ラム「地域史」を基に、	向けることで、生徒の	向けることで、生徒の	巻頭の「歴史を学ぶと	調べてみよう」では、	地域の歴史に対する	着を深められるよう
て、地域の歴史に目を	て、地域の歴史に目を	身近な地域に目を向	地域への愛着を深め	地域への愛着を深め	は」のメッセージは、	大阪市や横浜市を例	興味・関心を深められ	工夫されている。
向けることで、生徒の	向けることで、生徒の	けることで、生徒の地	られるよう工夫され	られるよう工夫され	保護者とも共有でき	に、身近な地域に目を	るような工夫が見ら	
身近な地域への愛着	地域への愛着を深め	域への愛着を深めら	ている。また、巻頭の	ている。また、巻末の	る内容となっている。	向けることで、生徒の	れる。また、巻末の「歴	
を深められるよう工	られるよう工夫され	れるよう工夫されて	「はじめに」のメッセ	「歴史を学んで」のメ		地域への愛着を深め	史学習を終えて」のメ	
夫されている。また、	ている。また、教科書	いる。	ージは、保護者とも共	ッセージは、保護者と		られるよう工夫され	ッセージは、保護者と	
教科書の裏表紙に保	の裏表紙に保護者の		有できる内容となっ	も共有できる内容と		ている。また、巻末の	も共有できる内容と	
護者の皆様への記述	皆様への記述があり、		ている。	なっている。		「歴史の旅の終わり	なっている。	
があり、保護者との連	保護者との連携につ					に」は、保護者とも共		
携について工夫され	いて工夫されている。					有できる内容となっ		
ている。						ている。		

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

より工天・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や境境に優しいインクの使用等境境への配慮がなされていること。 									
発行者名									
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 目文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書	
○コラムや図・表・文	○コラムや図・表・文	○コラムや図・表・文	○コラムや図・表・文	○コラムや図・表・文	○コラムや、図・表・	○コラムや図・表・文	○コラムや図・表・文	○各学習の資料が白	
化財の写真など、資料	化財の写真など、資料	化財の写真など、資料	化財の写真など、資料	化財の写真など、資料	地図、文化財の写真な	化財の写真など、資料	化財の写真など、資料	黒であること、節の区	
が豊富で、自主的に学	が豊富で、自主的に学	が豊富で、自主的に学	が豊富で、自主的に学	が豊富で、自主的に学	ど、資料が豊富で、自	が豊富で、自主的に学	が豊富で、自主的に学	切りを示すタイトル	
習を進めやすいよう	習を進めやすいよう	習を進めやすく、本文	習を進めやすいよう	習を進めやすく、本文	主的に学習が進めや	習を進めやすく、本文	習を進めやすい。本文	がページ途中に示さ	
工夫されている。本文	工夫されている。本文	と資料の割合バラン	工夫されている。本文	と資料の割合バラン	すい。本文と資料の内	と資料の割合バラン	と資料の内容を図番	れているため、学習課	
と資料の内容を図番	と資料の内容を図番	スも適切である。本文	と資料の内容を図番	スも適切である。本文	容を図番号によって	スも適切である。本文	号によって関連付け	題と学習内容のつな	
号によって関連付け	号によって関連付け	と資料の内容を図番	号によって関連付け	と資料の内容を図番	関連付けられており、	と資料の内容を図番	られていない。	がりが分かりにくい。	
られており、使いやす	られており、使いやす	号によって関連付け	られており、使いやす	号によって関連付け	使いやすいよう工夫	号によって関連付け	○本文の重要語句を	巻末資料に、地図や日	
いよう工夫されてい	いよう工夫されてい	られており、使いやす	いよう工夫されてい	られており、使いやす	されている。	られており、使いやす	ゴシック体で示さな	本美術図鑑があるが、	
る。	る。	いよう工夫されてい	る。	いよう工夫されてい	○重要語句は太文字	いよう工夫されてい	いことで、語句にとら	全体的に学習の理解	
○読みやすいゴシッ	○重要語句は太文字	る。	○写真やグラフがバ	る。	のゴシック体で表記	る。	われず歴史の学習を	を深める資料に乏し	
ク体の振り仮名が採	のゴシック体で表記	○写真やグラフがバ	ランスよく配置され	○読みやすいゴシッ	されている。写真や資	○写真やグラフがバ	深められるよう工夫	い面が見られる。	
用されており、本文と	されており、グラフの	ランスよく配置され	ており、絵と写真を組	ク体の振り仮名が採	料はバランスよく配	ランスよく配置され	されている。写真やグ	○本文と文献資料を	
資料の背景色を変え	色使いなどに統一感	ており、絵と写真を組	み合わせて提示する	用されており、統計や	置され、生徒に分かり	ており、絵と写真を組	ラフがバランスよく	フォントの違いで判	
ることで、より本文の	をもたせるなど、工夫	み合わせて提示する	など、生徒に分かりや	グラフの出典年まで	やすく工夫されてい	み合わせて提示する	配置されているなど	別できるようになっ	
文字が読みやすくな	されている。カラーユ	など、生徒に分かりや	すく工夫されている。	示されるなど、工夫さ	る。カラーユニバーサ	など、生徒により分か	工夫されている。カラ	ているものの、見やす	
るよう工夫されてい	ニバーサルデザイン	すく工夫されている。	カラーユニバーサル	れている。カラーユニ	ルデザインやフォン	りやすくする工夫が	ーユニバーサルデザ	く読みやすいような	
る。ユニバーサルデザ	やユニバーサルデザ	カラーユニバーサル	デザインやユニバー	バーサルデザインや	トに関する記述は見	されている。図版は色	インを取り入れてお	工夫・配慮という点で	
インフォントが採用	インフォントに配慮	デザインやユニバー	サルデザインフォン	ユニバーサルデザイ	られない。	覚特性を踏まえて、判	り、すべての生徒に使	は、他社と比較すると	
されており、立体感や	されている。また、見	サルデザインフォン	トに配慮されている。	ンフォントに配慮さ	○造本は堅牢で、十分	別しやすい色の使用	いやすい配慮がなさ	やや劣る。カラーユニ	
陰影のある表現を省	開き右下の色分けさ	トに配慮されている。	また、図版をできる限	れている。また、ペー	な耐久性を備えてい	や表示が工夫される	れている。	バーサルデザインや	
いた「フラットデザイ	れたインデックスで	また、グラフなどは、	り大きく掲載できる	ジ番号に色分けされ	る。	など、カラーバリアフ	○造本は堅牢で、十分	フォントに関する記	
ン」が採用されるな	単元が分類されるな	線種を変えたりする	よう工夫されている。	たインデックスで単	○再生紙や環境に配	リーに配慮されてい	な耐久性を備えてい	述は見られない。	
ど、工夫されている。	ど工夫されている。	など色以外の情報か	○造本は堅牢で、十分	元が分類されるなど	慮したインクの使用	る。	る。	○造本は堅牢で、十分	
○造本は堅牢で、十分	○造本は堅牢で、十分	らも読み取れるよう	な耐久性を備えてい	工夫されている。	に関する記述は見受	○造本は堅牢で、十分	○再生紙や植物油イ	な耐久性を備えてい	
な耐久性を備えてい	な耐久性を備えてい	配慮されている。	る。	○造本は堅牢で、十分	けられない。	な耐久性を備えてい	ンキが使用されてい	る	
る。	る。	○造本は堅牢で、十分	○再生紙と植物油イ	な耐久性を備えてい		る。	る。	○再生紙や環境に配	
○再生紙と環境に配	○再生紙や植物油イ	な耐久性を備えてい	ンキが使用されてい	る。		○再生紙や植物油イ		慮したインクの使用	
慮した植物油インキ	ンキが使用されてい	る。	る。	○再生紙や植物油イ		ンキが使用されてい		に関する記述は見受	
が使用されている。	る。	○軽くて耐久性に優		ンキが使用されてい		る。		けられない。	
		れた再生紙とライス		る。					
		インキが使用されて							
		いる。							